

# 大田区立池上福祉園

## 令和2年度事業計画

### 1. 運営方針

- ①利用者主体の良質なサービスをおこないます（「笑顔」・「待つ」ことを意識した支援の実践）。
- ②地域との関わりを大切にします（利用者理解の推進）。
- ③人権を常に意識し、礼儀（マナー）を重んじて行動します。

### 2. 職員等配置計画

職員 28名      非常勤職員 5名      嘱託医 2名      合計 35名

### 3. 今年度の重点目標

法人重点推進事項 (3) 活力ある組織・経営基盤づくり (5) 既存事業の機能強化			取組時期
1	新規事業等準備と指定管理再指定に向けた取り組み	内容 ・事業所機能の拡充に向けた準備を通し、「地域生活支援拠点」としての機能整備 ① 生活介護の定員拡大 ② 重症心身障害者通所事業	通年
法人重点推進事項 (1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護）			
2	利用者中心のプログラムの提供と余暇・自由時間の工夫～楽しみ・やりがい・喜び～	内容 ・アセスメントに基づいた根拠のある支援の展開（個々の理解に合わせた対応、過ごしやすい環境の調整・道具の提供／個別支援・配慮） ・エンパワメントを引き出す工夫（待つ支援からみえてくる“利用者から表出される芽生え”と“支援者の気づき”の双方の力を活用） ・支援プログラム・活動内容等の再検討及び試行	通年
法人重点推進事項 (4) 地域公益活動の推進			
3	開かれた事業所づくり、地域連携	内容 ・地域向けイベントの企画・実施 ・地域行事・活動への参加、協力 ・地域の皆様への設備・物品の貸出	通年

### 4. 利用者受入計画

在籍	55名	新規利用者	1名	定員	50名
年間開所日数	239日	利用率目標	85.3%（昨年度比0.3%アップ）		

## 5. 年間行事計画（詳細別紙）

4月	入園式	10月	しょうがい者の日のつどい
5月		11月	地域ふれあいコンサート いけいけハートフルフェスタ
6月		12月	クリスマス会
7月	利用者歯科検診	1月	成人を祝う会
8月	利用者健康診断・池上まつり	2月	
9月		3月	

※宿泊旅行については、別途設定予定

## 6. 権利擁護・虐待防止の取り組み

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「虐待防止に向けた体制づくりと組織の取り組み・仕組み等の活性化」

	実施項目	具体的取組
1	虐待防止 権利擁護	「徹底した現場主義の事例検討を軸とした（寄り添う）伴走型支援で自立型権利擁護へ転換を推進する」 *「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援 *「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組みの推進
2	苦情解決	「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報規程」に基づいて適切に対応

## 7. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画（\*事業所計画）

目的：法人職員・福祉専門職としての自覚を持ち、サービスの質の向上を目指す。

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「専門性に基づく支援のスーパーバイザー育成」

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	キャリアパスを活用した職員の成長を支える取り組み OJT推進 事例検討会の実施 外部研修受講者による報告会や勉強会の実施
2	外部研修	職員の意欲とスキルアップの向上を目指した研修への参加
3	自己研鑽支援	資格取得や知識を深めるための情報の提供

## 8. 地域公益活動の推進

	実施項目	具体的内容
1	地域まつり	第19回いけいけハートフルフェスタ
2	地域交流	池上DEエクササイズの計画・実施（地域共生型のポールウォ

		ーキング)
3	施設開放	土日祝日の施設開放
4	地域清掃	地域の清掃（ゴミ拾い）の実施（不定期）

## 9、地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容
1	相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携強化	関係者会議の参加 24時間365日の生活支援のためのネットワークの構築 他事業所との交流活動
2	地域交流・連携	ユニバーサル駅伝・納涼祭・池上まつり（池上まちおこしの会）・地域ふれあいコンサート（青少対）・スポGOMI大会・笑いヨガ（民生委員）・地域花壇の水やり（なでしこの会）
3	福祉人材受入	社会福祉士実習、介護等体験、職場体験の受入れ
4	広報活動等	園だより発行、ホームページの発行、池上まちおこしの会の「池上土産」として作業で製作した梅皿を販売

## 10、法令遵守に関する取り組み

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「経験職員等の多様な人材を活かしあう事業所づくり」

	実施項目	具体的取組
1	法令遵守	法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき適切に対応
2	「働きやすい職場」づくり	福祉サービス第三者評価を受審、活用 「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携

## 11、危機管理計画

	実施項目	具体的取組
1	事業継続（BCP）	事業継続（BCP）に関する事項の整備
2	防災関連	定期防災訓練・福祉避難所開設検討会および訓練 地域防災訓練に参加
3	緊急時対応	「緊急時対応マニュアル」により対応

## 12、その他

○平成29年度 第三者評価受審結果よりさらなる改善が望まれる点への取組

タイトル1	職員の入れ替えが多く、利用者への支援や業務の引継ぎが連携せず、ミスの要因になっている為に業務手順の再構築に期待する。
取組内容	記録やマニュアルの整備・活用について継続して取り組む。OJTの

	仕組みや体制の再検討と工夫。
タイトル2	事業活動で最も重要な核となる理念と方針について、明確な明示と周知の取り組みの強化が望まれる。
取組内容	法人理念、運営方針の園内掲示と職員会議等での確認。理念・方針と日常業務の繋がりが持てるような方法の実践。
タイトル3	ヒヤリ・ハットが多くあり改善に向けて検討する事が望まれる。
取組内容	ヒヤリ・ハットについては事故に至らなかった事例として、“気づきの視点”と捉え共有。繰り返される事例について、内容の理解を深めるための事例検討をおこない、共通認識から導き出される支援を実践。

別紙添付 令和2年度年間計画